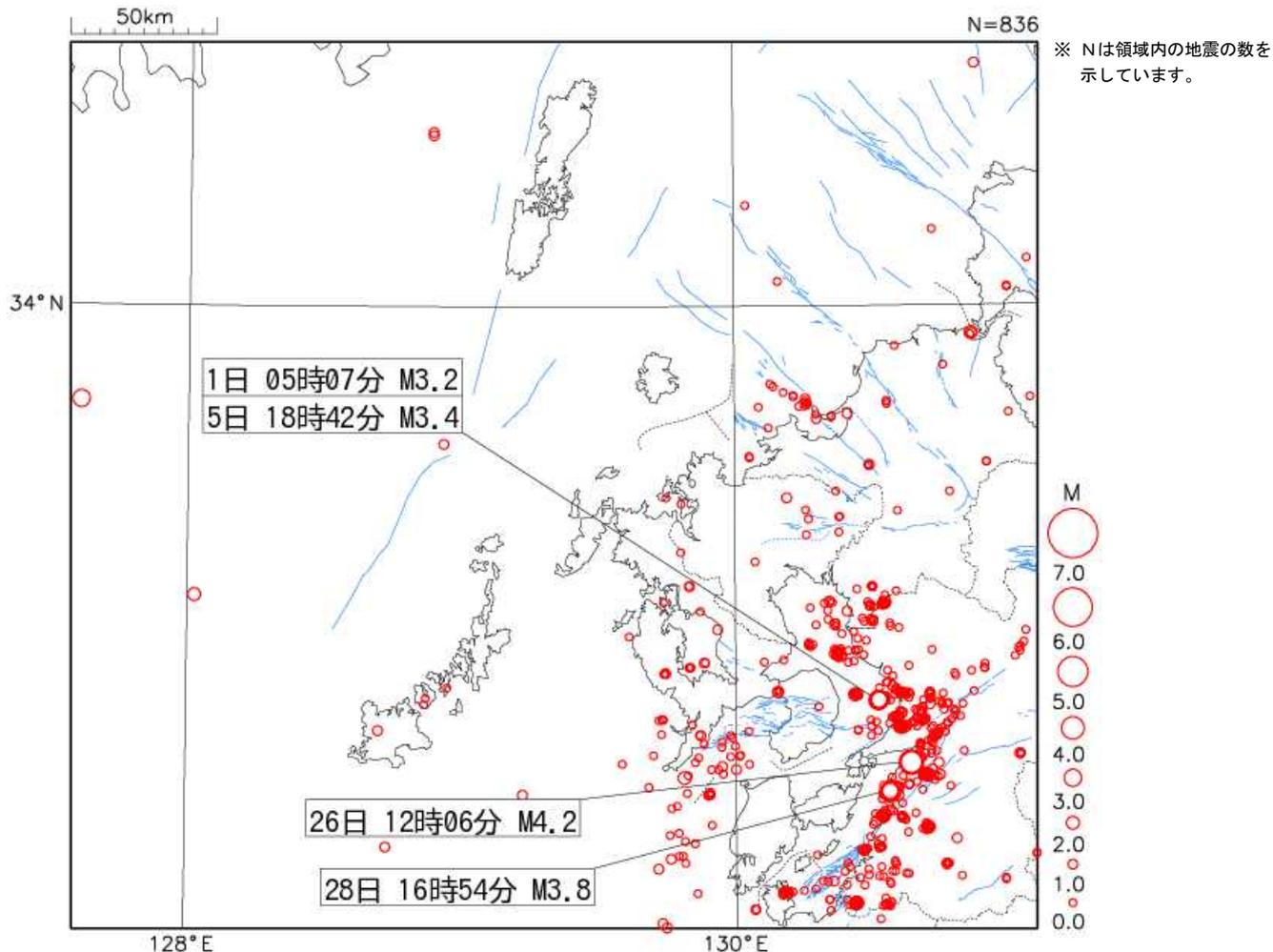


# 長崎県の地震活動概況 (2025年4月)

令和7年5月13日  
長崎地方気象台

## 地震活動の概況 (2025年4月)

4月に長崎県内で震度1以上を観測した地震は5回でした(震央分布図領域外の1回を含む。3月は4回)。詳細は2~6ページのとおりです。

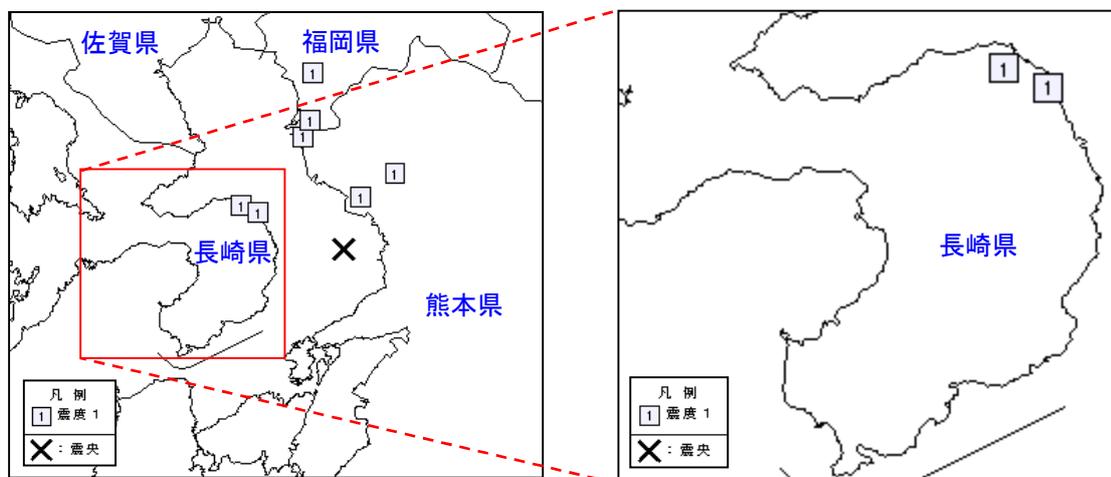


※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点 (よしが浦温泉、飯田小学校)、EarthScope Consortiumの観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

## 有明海

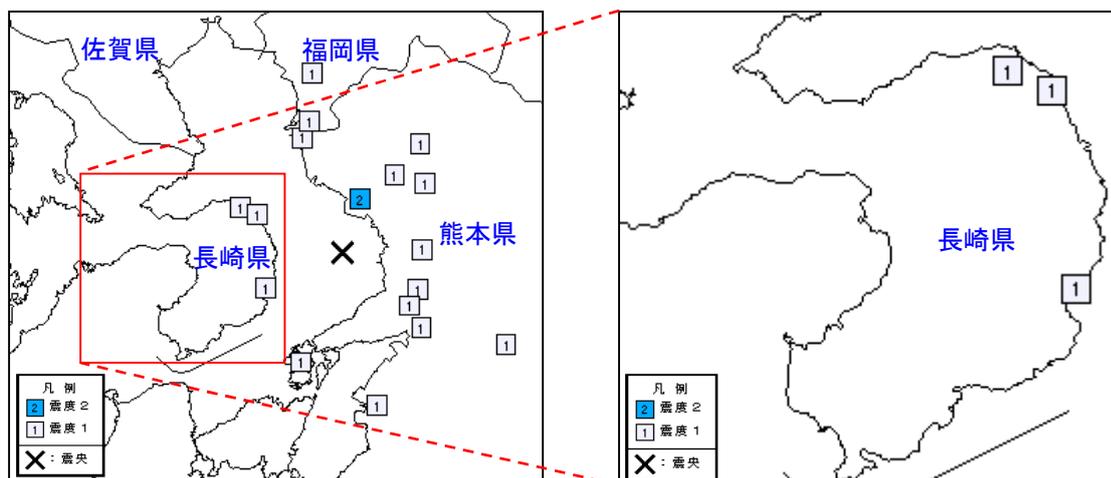
1日05時07分に有明海で発生したM3.2の地震（深さ11km）により、長崎県、熊本県、福岡県で震度1を観測しました。長崎県では雲仙市、島原市で震度1を観測しました。また5日18時42分にほぼ同じ場所で発生したM3.4の地震（深さ11km）により、熊本県の玉名市で震度2を観測したほか、長崎県、熊本県、福岡県で震度1を観測しました。長崎県では雲仙市、島原市及び南島原市で震度1を観測しました（図1、2）。

これらの地震の震源付近（図3領域a）では、2024年8月11日にM3.4の地震（深さ13km、最大震度2）が発生し、長崎県では雲仙市で震度1を観測しました。また、「平成28年（2016年）熊本地震」が発生しています（図3、4）。



4月1日05時07分 M3.2

図1 震度分布図（左：市町村別 右：観測点別）



4月5日18時42分 M3.4

図2 震度分布図（左：市町村別 右：観測点別）

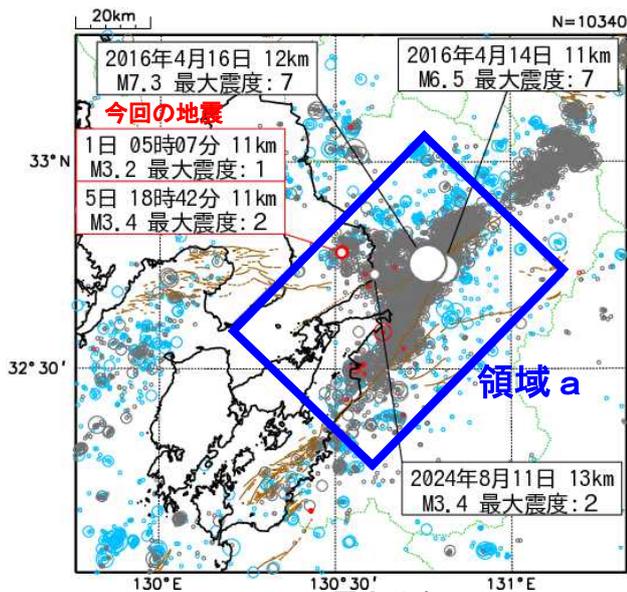


図3 震央分布図

(2000年10月1日～2025年4月30日 深さ0km～20km M $\geq$ 2.0)

※2016年4月13日以前の地震を青色で、

2016年4月14日以降の地震を灰色で

2025年4月の地震を赤色で表示

※図中の茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

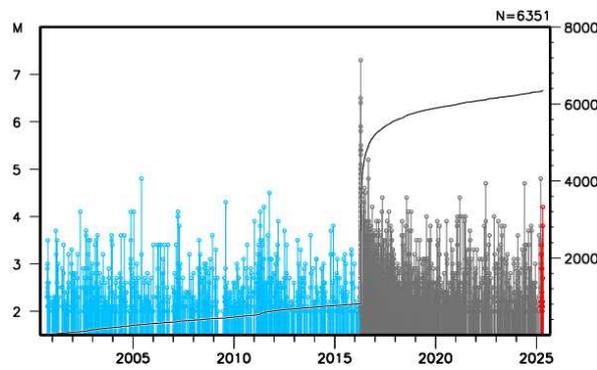


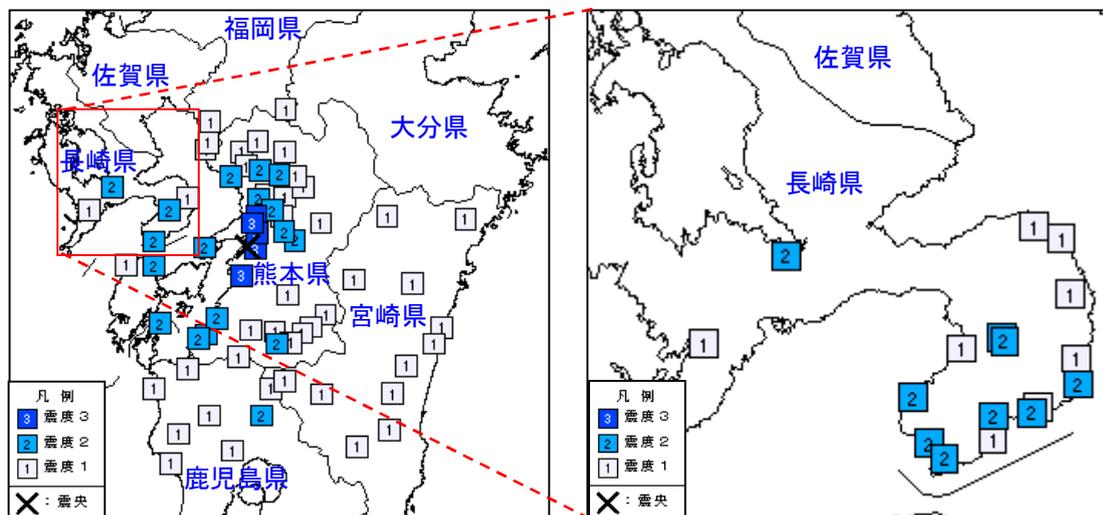
図4 図3領域a内の地震活動経過図及び回数積算図

### 熊本県熊本地方、熊本県天草・芦北地方

26日12時06分に熊本県熊本地方（情報発表に用いた震央地名は「熊本県天草・芦北地方」）で発生したM4.2の地震（深さ11km）により、熊本県で震度3を観測したほか、長崎県、熊本県、福岡県、鹿児島県、宮崎県で震度2～1を観測しました。長崎県では諫早市、雲仙市、南島原市で震度2を、長崎市と島原市で震度1を観測しました（図5）。

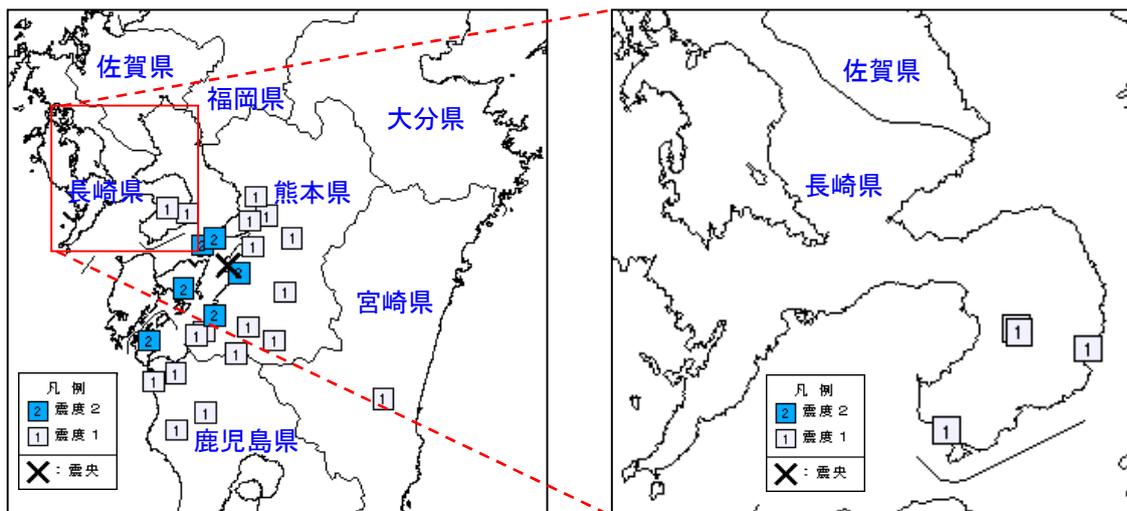
28日16時54分に熊本県天草・芦北地方（情報発表に用いた震央地名は「熊本県熊本地方」）で発生したM3.8の地震（深さ11km）により、熊本県と鹿児島県で震度2を観測したほか、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県で震度1を観測しました（図6）。

これらの地震の震源付近（図7領域b）では、「平成28年（2016年）熊本地震」が発生しています。この領域（図7領域c）では、2025年3月18日にM4.8の地震（深さ10km、最大震度4）が発生し、長崎県では、雲仙市で震度3を観測したほか、県内の広い範囲で震度2～1を観測しました（図7～9）。



4月26日12時06分 M4.2

図5 震度分布図（左：市町村別 右：観測点別）



4月28日16時54分 M3.8  
 図6 震度分布図 (左:市町村別 右:観測点別)



図7 震央分布図

(2000年10月1日~2025年4月30日 深さ0km~20km M $\geq$ 2.0)

- ※2016年4月13日以前の地震を青色で
- ※2016年4月14日以降の地震を灰色で
- ※2025年4月の地震を赤色で表示。
- ※図中の茶色は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

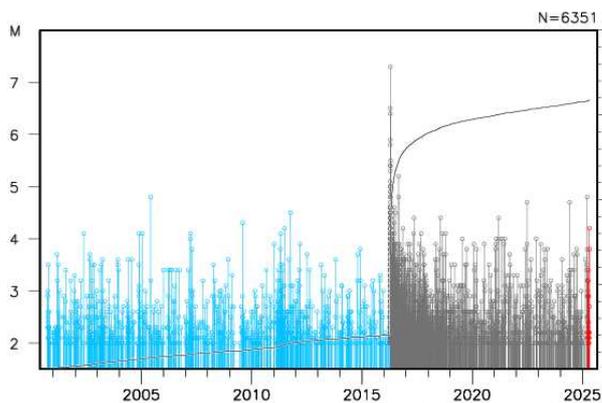
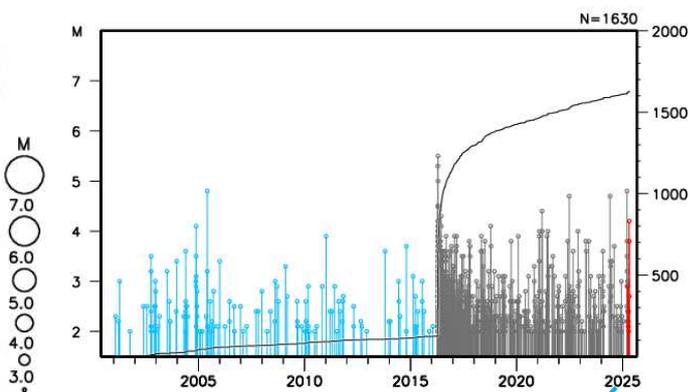


図8 領域b内の地震活動経過図及び回数積算図

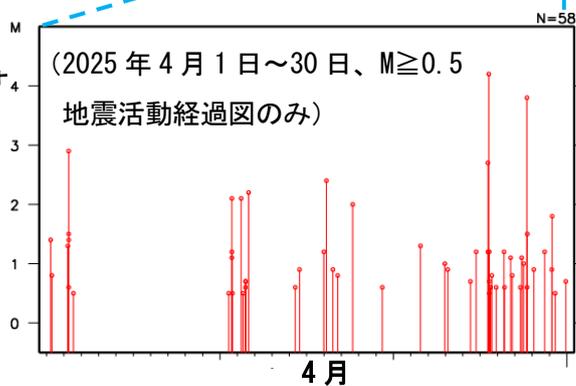
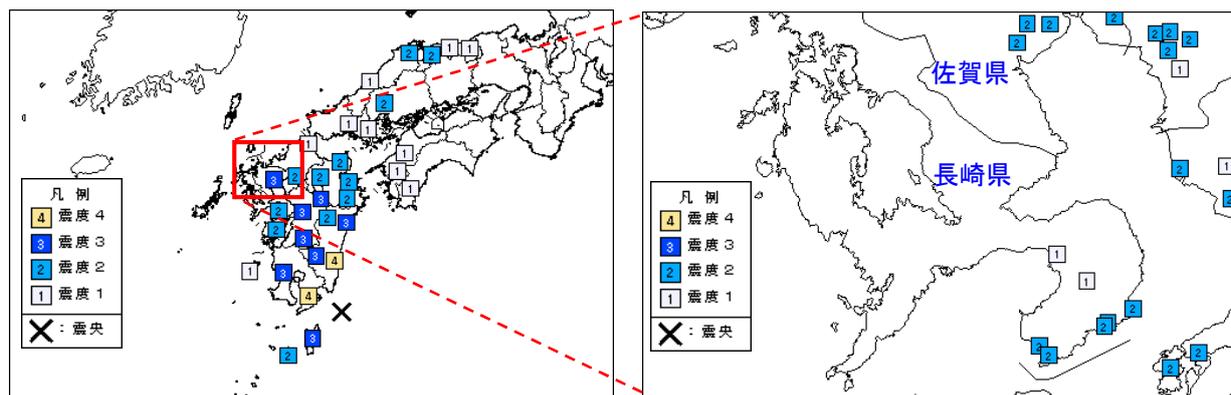


図9 領域c内の地震活動経過図及び回数積算図

### 大隅半島東方沖(1頁震央分布図領域外)

2日23時03分に大隅半島東方沖で発生したM6.1の地震(深さ36km)により、宮崎県の宮崎市、日南市、鹿児島県の志布志市、鹿屋市などで震度4を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方で震度3~1を観測しました。長崎県では、南島原市で震度2を、雲仙市で震度1を観測しました(図10)。

今回の地震の震源付近(図12領域e)では、2022年10月2日にM5.9の地震(深さ29km 最大震度5弱)が発生し、長崎県では南島原市で震度2を観測し、長崎市、諫早市、島原市及び雲仙市で震度1を観測しました(図11~13)。



4月2日23時3分 M6.1

図10 震度分布図(左:地域別、右:観測点別)

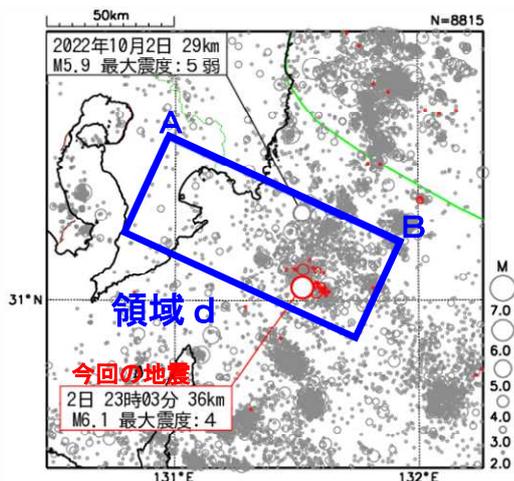


図11 震央分布図

(1997年10月1日~2025年4月30日 深さ0km~100km M $\geq$ 2.0)

※2025年4月の地震を赤色で表示

※緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す

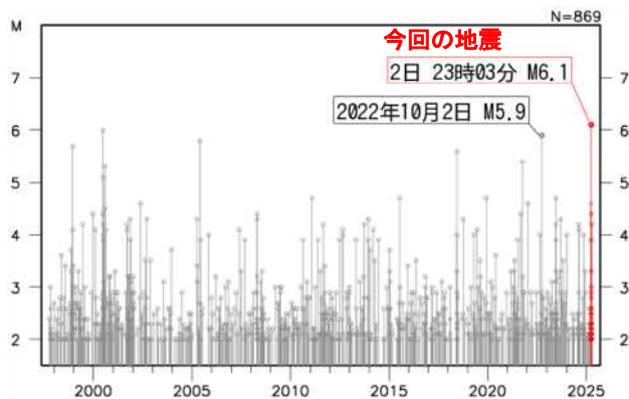


図13 図12領域d内の地震活動経過図

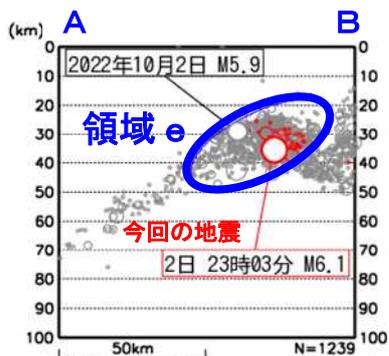


図12 図11領域d内の断面図(A-B投影)

## 長崎県内で震度1以上を観測した地震の表（4月1日～30日）

地震発生時刻 各地の震度	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2025年04月01日09時28分 震度 1：島原市有明町＊, 雲仙市国見町	有明海	32° 46.9' N	130° 31.2' E	11km	M3.2
2025年04月02日23時03分 震度 2：南島原市口之津町＊, 南島原市西有家町＊, 南島原市布津町＊, 南島原市加津佐町＊ 南島原市有家町＊ 震度 1：雲仙市小浜町雲仙, 雲仙市千々石町＊	大隅半島東方沖	31° 02.7' N	131° 31.3' E	36km	M6.1
2025年04月05日18時42分 震度 1：島原市有明町＊, 雲仙市国見町, 南島原市深江町＊	有明海	32° 46.8' N	130° 31.0' E	11km	M3.4
2025年04月26日12時06分 震度 2：諫早市多良見町＊, 雲仙市小浜町雲仙, 雲仙市雲仙出張所＊, 雲仙市南串山町＊ 南島原市口之津町＊, 南島原市北有馬町＊, 南島原市西有家町＊, 南島原市布津町＊ 南島原市加津佐町＊ 震度 1：長崎市元町＊, 島原市下折橋町＊, 島原市有明町＊, 雲仙市国見町, 雲仙市小浜町北本町＊ 南島原市南有馬町＊, 南島原市深江町＊, 南島原市有家町＊	熊本県熊本地方	32° 35.3' N	130° 38.0' E	11km	M4.2
2025年04月28日16時54分 震度 1：雲仙市小浜町雲仙, 雲仙市雲仙出張所＊, 南島原市深江町＊, 南島原市加津佐町＊	熊本県天草・芦北地方	32° 30.1' N	130° 33.4' E	11km	M3.8

注) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。  
＊を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

## 地震資料に掲載される図の見方

長崎地方気象台では、地方公共団体等による日頃の災害予防の活動を支援するため、長崎県内の地震活動の状況として「長崎県の地震活動概況」を毎月作成・公表しています。また、長崎県で震度4以上の揺れを観測した場合や津波警報等を発表した場合には、防災対応に資するために「地震解説資料」を公表しています。

今回は、「平成28年(2016年)熊本地震」を例として、これらの資料に掲載される主な図の見方について解説します。

## 1. 震度分布図(図1)

震度分布図は、各地の震度観測点で観測した震度を地図上に表示し、地震による揺れの強さや範囲を表現したものです。震度5と震度6にはそれぞれ強弱があり、例えば震度6強は「6+」、震度6弱は「6-」と表示します。また、地震による揺れが広範囲にわたる場合には、図が煩雑にならないように、各地域内、各市区町村内で観測した震度の中で最も大きな震度を代表させて表示することがあります(図1は地域別の震度分布図の例)。

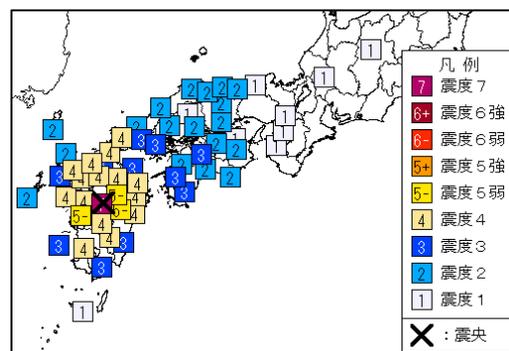


図1 震度分布図(地域別)

## 2. 震央分布図(図2)、断面図(図3)

震央分布図は、地震が発生した場所を地図上に表示し、地震活動の面的な広がりや表現したものです。表示するシンボルの大きさを変えることで、地震の規模(マグニチュード、以下、「M」)を表現しています。なお、地震の発生した深さをシンボルの形を変えて表現する場合があります。また、断面図により地震活動の立体的な広がりを表現します。図3は、図2の中の青線で区切られた領域を南東方向から見た断面図です。この断面図を見ると、深さ20kmよりも浅い所で地震が発生していることがわかります。

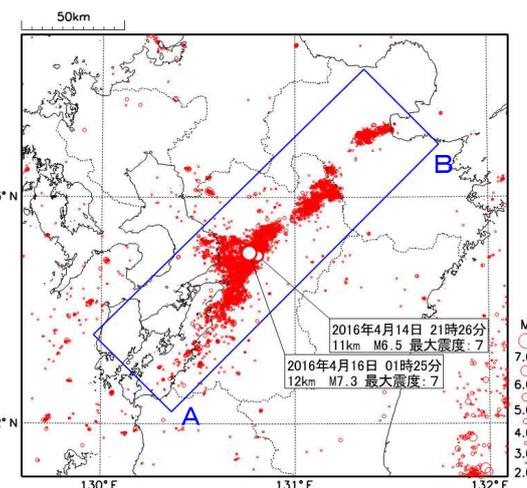


図2 震央分布図

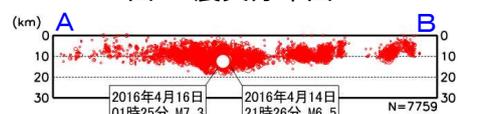


図3 断面図(A-B投影)

## 3. 地震活動経過図と回数積算図(図4)

地震活動経過図と回数積算図は、ある領域内で発生した地震の規模や数(回数積算)について、時間の経過に伴う変化を表現したもので、横軸に時間、縦軸に規模や数(回数積算)を表しています。

図4は、図2の中の青枠で区切られた領域内の地震活動経過図と回数積算図です。この図を見ると、2016年4月16日にM7.3の地震が発生した後、時間の経過とともに発生した地震の規模が小さくなり、その数も徐々に減少していますが、活動は継続していることがわかります。

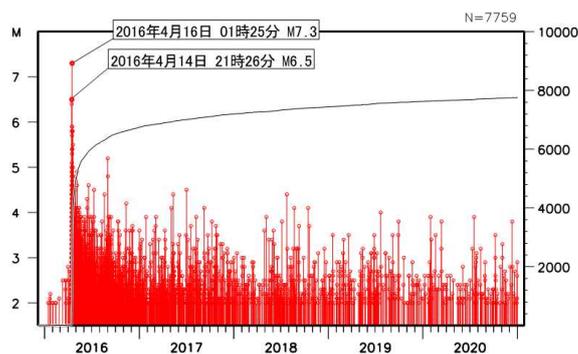


図4 地震活動経過図及び回数積算図